

研究に関するお知らせ

研究の名称：当院の医事課ファイル（DPCデータ）を用いた

外科での抗菌薬使用量調査研究

■研究目的・方法・対象

感染症を起こした細菌などに対する治療として用いる“抗微生物薬”の効かない菌（AMR：薬剤耐性微生物）が世界的に増えています。その対策として本邦でも2016年にAMR対策アクションプランが策定されました。これまでの研究で、病院などの医療機関において抗微生物薬の使用量（Antimicrobial Usage = AMU）が増えれば増えるほど、薬剤耐性微生物が増えることがわかっています。そのため、アクションプランには医療機関でのAMUを継続的に監視するように記載されています。医療機関で、簡便かつ正確にAMUを監視する方法が求められており、我々はAMUを把握するためのソフト（Antimicrobial Consumption Aggregate System = ACAS）を使用し、医事会計に関するEFファイルを用いたACASによるAMUと実際のAMUの比較を行い、ACASの有用性の検討を行います。

■研究期間

西暦2016年8月1日～2020年12月31日まで

■研究対象・研究に用いる情報の種類

対象としては、2013年4月1日から2017年3月31日までの間に京都医療センター外科で使用された抗菌薬および抗真菌薬の使用量になります。上記期間中に当院で（外来・入院を問わず）抗菌薬・抗真菌薬を使用した方は、その使用量のデータ（薬剤名、薬剤使用量、薬剤使用日）のみ研究に使用させていただきます。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究では、患者を匿名化してデータを収集致します。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。みなさまに新たにご負担頂くことはございません。

■研究責任者：

京都医療センター外科 畑 啓昭

■お問い合わせ先

京都医療センター外科

〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1

電話：075-641-9161

■掲示場所・交付場所

京都医療センター外科ホームページへ掲載